

第 1490 回例会報告

平成29年1月26日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

コンピュータウィルスの話

本日は、コンピュータウィルスのお話をいたします。コンピュータを使わない方には退屈なお話ですがお付き合いください。

宮坂陽子会員がこの方面のプロですので万全を目指す方は宮坂会員にご相談なさるとよいでしょう。私はもう少し低レベルのお話をいたします。

コンピュータウィルスは、いくつかの種類があります。ひとつは、昔ながらの自分のコンピュータのファイルを破壊したり動きを悪くするウィルスです。

もう一つはコンピュータから情報を取り出し外に漏らすウィルスです。一般的にはキーロガーウィルスと言われ、キーボードで打った内容を外に漏らす仕組みです。例えば今コンピュータで買い物をしている方はわかると思いますが、買い物の清算はカードで簡単に行えます。特に難しいことを問われることはありません。その清算の時に打った VISA のカード番号や暗証番号を外のコンピュータに送り出すというウィルスです。

送り出された情報を基に不正にカードが使われるわけです。別にコンピュータウィルスに感染しなくても、例えばカードを落としたりしたときなどにも簡単に使われてしまうということは当然です。

最もこれはウィルスに感染していなくても銀行の振り込みサイトとよく似た画面が出て、間違えて入力すると情報が取られてしまうフィッシングサイトというものもあります。

もう一つがランサムウェアと呼ばれるあたらしいウィルスが出ています。これは会社などのコンピュータの内容を暗号化して全く見るができなくなるウィルスで現在猛威を振るっています。

基本的にはこうしたウィルスはメールを通じて送られてきますので、怪しいメールは開かないことが大切です。怪しいメールは今まで外国語と相場が決まっていたのですが、この頃日本語で「発注のお願い」などと開きたくなるメールで来ますので気を付けてください。

ところで皆さんがよく見かけるものに、「アドウェア(詐欺ソフト)」とか「支払えサイト」があります。

「あなたのコンピュータを無料で診断します」という文句で、信用してソフトを入れると、「あなたのコンピュータは壊れている」というなどと不安を煽り、ソフト代を要求するものです。かえって遅くなるうえこのソフトをなかなか消せずに困ることも多々あります。

もう一つが、「あんたは会員になりました。お金を払ってください」という例のサイトです。こんな画面になったら絶対お金を払ってはいけません。コンピュータに詳しい人に恥ずかしがらず相談してください。

いずれにしても、安全策は危険な場所には近づかないことが一番大切です。

第 1490 回例会

プロフェッショナルの心得

担当 青少年奉仕委員会
海老原十三会員卓話

本日は海老原十三会員による「プロフェッショナル

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	24名
出席率	66.7%
前回修正	83.3%

■ニコニコBOX

3名	3,000円
累計	327,300円
目標額	60万円
達成率	54.6%

■今週のこぼ

海老原さん本日はよろしくお願ひいたします。経験豊かなお話を楽しみにしています

宮坂英貴



きっと心得帳」という話でした。大変良い話でしたので全部をワープロ化しました。紙面の都合で半分のみ記載します。ご入用の方は、事務局までご連絡ください。

第一章 プロとは何か？

第1条 プロは誰よりも豊富な知識と経験を持つ。しかもそれは与えられたものではなく自分の努力で獲得したものである。(この分野においては俺は誰にも負けないという自負がある、それほど知識と経験を持っている)



第2条 プロは何よりもその仕事が大切である。しかし好きなるが故に苦しみも倍加する。プロはその苦しみを乗り越え、向上し続けることに限りない生き甲斐を感じている。

(苦しみ、成し遂げたときの喜びを知っている)

第3条 プロとは言い訳をしない人である。言い訳とは責任を自分以外の原因に転嫁させることだ。

(雨が降ったので、雪が降ったので、あるいはあの人がこう言ったので、と責任のがれはしない)

第4条 プロとは障害を認めない人である。従ってどのような障害があっても、求める必要な結果を必ず達成する。

(山があっても又、谷があっても必ず目的を達成するためにのりきる強い意志をもっている)

第5条 プロとはいかなる時にも決して弱味を見せない人である。

(ああだから、こうだから出来ないとは絶対言わない)

第6条 プロは決断力が速く、チャンスを絶対逃さない人である。

(周囲に惑わされることなく、意志決定が早く、こうと決めたらすぐ行動する)

第7条 プロはどのように(過程)仕事をしたかではなく、どのような(結果)仕事をしたかによって評価される。すなわち過程ではなく結果である。

(いくら一生懸命汗水流して働いても結果が悪ければ駄目。成果を上げてこそプロといえる)

第8条 プロは最終的に数字で評価され、経済的

報酬で差が付く。

第9条 プロとはどこへ行っても銭の取れる実力のある人と言う。

第10条 プロとは常に下B上における自己否定を繰り返し、自己革新を続ける人である。従って三ヶ月経って何の変化もなければ、すでにプロではない。

(プロはいつも現状における自分ではいけないとし、常に新しいものに向って自分自身をあらたに向上させようとする)

第二章 アマの領域とは？

第11条 アマはマイナスが来るとそれに輪を掛けて更にマイナスにしてしまう。マイナスをプラスに変えることのできる人をプロという。

第12条 アマの領域ではどんなに上手にできてもそれは単なる模倣に過ぎない。独創性が無ければプロとは言えない。

第13条 アマは他の批評に左右される。プロは他人の意見を聴くが自分で価値判断を下す。

第14条 アマはこれがあるからできないと思う。プロはこれさえ解決すればできると考える。

第15条 アマは変化がきた時、ダメだと思ふ。プロは変化がきた時、チャンスだと捉える。

(環境、条件が変わった時例) 雨、風、景気、不景気)

第16条 アマはいつもやり直しが効くと思う。プロはいつもこれが最後だという一期一会の精神で臨む。プロは真剣に取り組む)

第17条 アマは見逃す事が多いが、プロは何をやってもみな仕事に結び付けて考える。

(プロはその道に精通しているから、どんなことでも仕事に結び付けて自分のものとして吸収する)

第18条 アマは自分ができるだけで満足する。しかし人に教えることができこそプロと言える。

(プロは身をもって体得した知識、経験だから人に教えることもできる)

第19条 アマは途中で諦め、投げ出す。プロは諦めを知らず、最後まで食い付いて離れない。

(プロは試行錯誤を繰り返し最後までチャレンジする)

第20条 アマは仕事以外に生き甲斐を持つ人。プロは仕事そのものに生き甲斐を持つ。

第三章 プロの哲学とは？

第21条 プロはひたすら飽くことを知らず基本原則を繰り返す。創造とは繰り返しの中から生まれることを知っているからだ。

(新しい物を創り出すということは一朝一夕ではできない。繰り返し、繰り返しの中から生まれる)

(全文はこの倍程度、A4で2枚です)